



避難のタイミングは レベルで判断！ 防災気象情報が変わります

| | 河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫 | 大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫 | 土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流 | 高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水 | (警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動 |
|----------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|-----------------------------|--|
| 警戒レベル 5相当 | レベル5 氾濫特別警報 | レベル5 大雨特別警報 | レベル5 土砂災害特別警報 | レベル5 高潮特別警報 | 命の危険 直ちに安全確保! |
| <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!> | | | | | |
| 警戒レベル 4相当 | レベル4 氾濫危険情報 | レベル4 大雨危険警報 | レベル4 土砂災害危険警報 | レベル4 高潮危険警報 | 危険な場所から全員避難 |
| 警戒レベル 3相当 | レベル3 氾濫警報 | レベル3 大雨警報 | レベル3 土砂災害警報 | レベル3 高潮警報 | 避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備など |
| 警戒レベル 2 | レベル2 氾濫注意報 | レベル2 大雨注意報 | レベル2 土砂災害注意報 | レベル2 高潮注意報 | 避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど) |
| 警戒レベル 1 | 早期注意情報 | | | | 災害への心構えを高める |

防災気象情報の変更ポイント

- ① 情報名に「レベル」が付きます
警報・注意報の名称に、警戒レベル(1~5)が表示されます。
例: 大雨警報 → レベル3 大雨警報
高潮注意報 → レベル2 高潮注意報
- ② レベル4は「危険警報」に
これまで分かりにくかった「警戒レベル4相当」の情報は、「危険警報」として発表されます。
例: 土砂災害警戒情報 → レベル4 土砂災害危険警報
- ③ 河川の情報が変わります
これまでの「洪水警報・注意報」は廃止され、川の大きさによって伝え方が変わります。
- ④ 線状降水帯の発生などは「気象防災速報」
極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表されます。
例: 顕著な大雨に関する気象情報 → 気象防災速報(線状降水帯発生)
記録的短時間大雨情報 → 気象防災速報(記録的短時間大雨)

避難情報に応じた避難所の開設

警戒レベルに応じて段階的に避難所を開設します。

警戒レベル3(高齢者等避難)

まずは、避難に時間がかかる人などを対象に、次の避難所を開設します。

- ・福祉センター
- ・網津防災センター
- ・網田コミュニティセンター

警戒レベル4(避難指示)

などが発令された場合は、避難所を追加で開設することがあります。

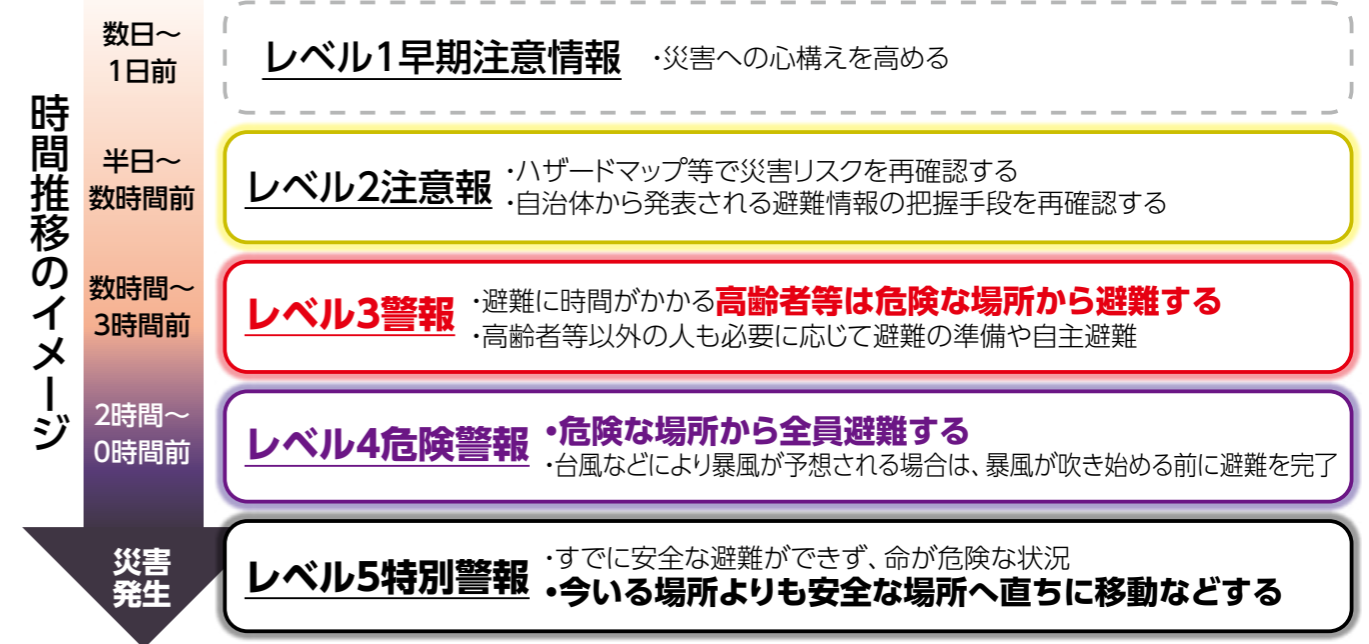
また、災害や被害の状況に応じて、市から防災行政無線や市ホームページ、LINE、Facebookなどで随時、防災情報を発信しますので、ご確認ください。



宇土市 HP



宇土市 LINE



令和8年5月29日(金)から運用開始

大雨や河川氾濫、土砂災害、高潮などの情報が、より分かりやすく、避難の判断につながる形に変わります。これまでの「警報」「注意報」「〇〇情報」は分かりにくい面がありましたが、今後は5段階の警戒レベルに対応し、「いつ避難するか」が直感的に分かるようになります。

情報が出たら、どう動く?

～色とレベルでわかる「避難のタイミング」～

上図は、災害が発生するまでに出される「防災気象情報」と行動の例の関係を時間の流れに沿ってイメージしたものです。災害の危険が高まると、レベル1~5の情報が順次発表され、各レベルに応じて、取るべき行動も変わります。

避難するタイミングは「レベル3」と「レベル4」

「レベル3」は高齢者など避難に時間がかかる人は避難を。「レベル4」は全員が避難するタイミングです。「レベル5」はすでに命の危険が迫っている状態です。